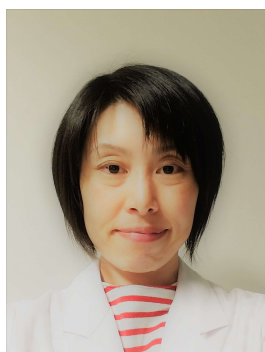


がんの発生や進行を制御する因子の探索・同定と 分子メカニズムの解明



特別研究補助員

伊藤(上田) 紗弥

① アピールポイント

様々なスクリーニング系を用いて、がんの発生や進行を制御する鍵因子の発見を目指しています。
さらに、見出した因子の分子機能解析を通じて、がんの発生・進行に関する分子メカニズムを明らかにします。

② 研究の出口のイメージ

得られた知見は、有効ながん治療法の開発へと応用されることが期待されます。また、生体の恒常性維持機構の破綻メカニズムを明らかにすることが、がんを含む様々な疾患の原因解明につながると考えられます。

キーワード

泌尿器系腫瘍、疾患モデル動物、アンドロゲン

研究内容

①がん組織と正常組織間の遺伝子発現比較解析、②がん由来培養細胞を用いたアンドロゲン刺激等の有無による遺伝子発現比較解析、③疾患モデル動物を用いた遺伝学的手法による遺伝子の機能解析などを単独あるいは組み合わせた網羅的スクリーニングを行い、がんの発生・進行制御に関わる新規因子の探索・同定を試みています。また同定した因子に関して、*in vitro*系や培養細胞を用いた分子生物学的解析、さらには疾患モデル動物を用いた生理学的評価を行い、がんの発生・進行制御における役割を明らかにします。【研究成果：BBRC(2014), *Oncotarget*(2016), BBRC(2017), BBA(2018), *Oncotarget*(2018)】

